日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
［2026 年度　外国人患者受入れ医療機関対応支援事業(夜間・休日ワンストップ窓口事業)受託業者］

2026 年 10 月　マンスリーレポート

夜間・休日ワンストップ窓口への相談事例
（海外旅行保険に未加入の外国人患者の帰国方法と受入医療機関の選定について）

ご相談内容：

家族で旅行中の外国人観光客が、大腿骨骨折で当院に搬送されてきた。
当院で入院・治療中だが、この患者の帰国についてどのようにすればよいか。また、母国の受入先医療機関をどのように選定すればよいか知りたい。
この患者は、海外旅行保険の加入がなく、本来の旅程では明後日夜の航空便で帰国予定。

対応内容：

当窓口から、以下を案内した。

◆帰国について

- 傷病者の帰国については、担当医が帰国できる容態かどうか、航空機搭乗に際して医療者もしくは介助者の同行が必要かを判断することになる。商用便の場合、利用航空会社としても搭乗の可否を判断するため、医師が作成・署名した FTF（Fit to Fly：航空機を利用するための医師による診断書・医療情報）が必要となる。
  FTF に決まったフォームはないが、利用する航空会社から入手も可能。
- 家族から利用する航空会社に連絡して、あらかじめ傷病者が渡航する旨を知らせておく。
- 車いすを利用しての自力帰国もしくは家族の同行での帰国が可能であれば、費用はかなり抑えられる。
  医療者の同行が必要な場合、もしくはストレッチャーが必要な場合は、同行する医療者の費用とストレッチャーで使用する 6～9 席分の座席の確保が必要となり、かなり高額になる。

◆母国での受入医療機関の選定について

- 国内から外国の医療機関を選定することは、現地の医療制度や医療機関情報を確認することが困難であり、その他、費用や患者本人や家族の利便性なども考慮が必要なため、貴院で作成した診療情報提供書を基に、患者家族が受入医療機関を選定する。
  場合によっては空港から受入医療機関までの移動についても、受入医療機関と相談の上、家族に選定していただくとよい。

以上

【当事業に関する連絡先】
日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
RMS 部　担当：浦野
電話：03-6757-1037（平日　9:00～18:00）　メール：onestop@emergency.co.jp